

# Lion

IWATE

2020.6

332-B地区  
アクティビティスローガン

「地域と共生」  
— 継続は力なり —





## 地区ガバナー 退任の挨拶

地区ガバナー L. 平野 喜嗣 (盛岡LC)

昨年7月イタリア・ミラノで開催されました第102回国際大会にて332-B地区ガバナーに就任し、ジュンヨル・チョイ国際会長テーマ「We Serve ー多様性でウィ・サーブー」の下、アクティビティスローガンは「地域と共生」ー継続は力なりー、ガバナーテーマ「明るく、楽しく、We Serve. 行動しよう！ライオンズ!!」を掲げ、332-B地区会員2,200余名の皆様と共に We Serve に邁進してまいりました。今期の各クラブ皆様の、We Serve に対する真摯な姿勢とご努力に心から敬意と感謝を申し上げます。

ガバナー重点目標の第1番目は『東日本大震災復興支援』。332-B地区にとって忘れてはならない、2011年3月11日の東日本大震災より9年が過ぎました。多くの仲間を失い、大切な生活の場を失い、途方に暮れた日々から、三陸鉄道全線開通、ワールドカップ釜石開催など、ようやく新しい光が街を包み始めた矢先の台風19号豪雨災害。本当に心が折れる光景でした。いったい何度試練を乗り越えればいいのかと。LCIFはじめ、全世界、全国からのご支援のもと、『332-B地区は一つ』の心で常に被災地に寄り添い、現地の声を聞き、現状に即した支援を行い、これからも共に復興の道を進んでまいりたいと考えます。

第2番目は、これからの未来を託す青少年健全育成事業におけるライオンズクエストプログラムの推進と、薬物乱用防止啓発活動。第3番目の保健面では、献眼・献血・献腎運動の推進。第4番

目は、ライオンズの柱となるGLT・GMT・GST・FWT・LCIFの推進。GLTでは特に若手リーダーの育成。GMTでは、会員純増5%必達。リテンション強化。GSTでは、糖尿病啓発事業、子供の貧困と小児がんサポート支援事業、スペシャルオリックス支援事業。FWTではヘッドネーションの推進。LCIFでは、2年目となるLCIFキャンペーン100の達成。第5番目の県内クラブ間交流の推進とガバナー重点目標には、5項目を掲げ取り組んでまいりました。ジュンヨル・チョイ国際会長の、「人々の期待以上の努力をすれば、結果は遠からずその後を必ずついてくる」という情熱溢れるリーダーシップのもと、『常に地域と共に』『常に明るく・楽しく』を心におき、この1年を走ってきた思いであります。

8月、1R2Zから始まったガバナー公式訪問は、延べ10日間にわたる強行スケジュールでありましたが、公式訪問前の四役懇談会では直接各クラブの声を聴くことができ、クラブが抱えている様々な問題を知ることができました。キャビネットとして今後の運営指針となる、大変意義ある時間だったと考えます。主管されたゾーン・チェアパーソンの皆様には、会場設営等ご苦勞をおかけいたしました。ありがとうございました。

11月7日から10日まで開催された第58回東洋東南アジアフォーラム・広島大会は、91名の登録をいただき、「332-B地区の夕べ」も盛大に開催でき、クラブの垣根を超えた交流ができました。

大変楽しい時間をありがとうございました。

下期に入り、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、多くの行事が中止に追い込まれました。何と言っても、第66回年次大会の中止は痛恨の極みです。是非やりたかった支援エクスカージョン「三陸鉄道リアス線に乗って～日帰りの旅～」。三陸海岸の大海原を眺めながら、沿岸地域の皆さんの応援と県内各クラブの交流。断腸の思いでの中止の決断は、しばらくの間「年次大会ロス」の心境に陥りました。この企画は是非とも来期に引き継ぎたいと思います。初めての代替代議員会の開催も、皆様のご理解のもと無事に終えることができ、本当に安堵いたしました。

下期での明るいニュースは、2月に和賀ライオンズクラブに「和賀フロンティアクラブ支部」、3月に盛岡不來方ライオンズクラブに「盛岡<sup>あすなろ</sup>翼松クラブ支部」と、2つのクラブ支部誕生。会員維持につきまして第3四半期（1月～3月）で全国

1位の成績を残すことができたことです。担当役員はじめ、皆様のご努力に敬意を表すところであります。

来期は、この2年間ガバナーチームとして活動を共にしてきた、北上国見ライオンズクラブ所属のL. 菊池徳男が地区ガバナーに就任いたします。必ずや332-B地区発展のために活躍いただけるものと期待いたし、心からエールを送ります。

この新型コロナウイルス感染症拡大により、今後、会員減少など厳しい状況が待ち受けているだろうと推察されます。9年前の東日本大震災でも大変な毎日乗り越えてきた私たちです。どうか心ひとつに、この難局をがんばって乗り切ってまいります。

終わりに、この1年私に賜りましたご支援とご協力に対しまして衷心より深く御礼申し上げ、332-B地区のますますの発展と皆様のご健勝を祈念し、挨拶といたします。



支援エクスカージョン「三陸鉄道リアス線に乗って～日帰りの旅～」イメージ



## キャビネット幹事 退任の挨拶

キャビネット幹事 L. 伊藤 完治 (盛岡LC)

昨年の7月、ライオンズクラブ国際協会ミラノ国際大会で、L. 平野喜嗣が332-B地区ガバナーに就任いたしました。キャビネット幹事として責任の重さを痛感し、帰国いたしました。

第1回キャビネット会議から本格的にスタート。各ZC、クラブ会長、幹事、会計の方々との対話の中で、会員の皆さまが地域社会への奉仕活動に真摯に取り組んでいる姿を知り、感動いたしました。

8月からのガバナー公式訪問の際には、会員の高齢化、県内の人口減少、東日本大震災以降の経済的な苦勞など、率直なご意見を伺い、いろいろな事を考えさせられました。

10月の台風19号の時は、県内各地域の会員の皆さまのご無事を祈りながら、被災状況の情報を集めました。大震災や台風など多くの災害に対する支援策として、平野ガバナーとの協議の結果、三陸鉄道の復興支援が決まりました。会員の皆さまからも温かい賛同をいただき、準備を進めていましたが、第3回キャビネット会議終了後に、新型コロナウイルス感染が拡大。政府の緊急事態宣言により会員の皆さまの健康と安全が第一と判断し、第66回年次大会、チャリティゴルフコンペ、三陸鉄道の旅などの年次大会関連行事は中止となりました。平野ガバナーにとっては断腸の思いで、本当に辛い決断だったと思います。しかし、形だけではありませんでしたが、三陸鉄道に対する支援については支援金の贈呈式を執り行うことができました。

終わりに、この1年間、ガバナーをはじめキャビネット構成員、事務局員の皆さまのご努力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



## キャビネット会計 退任の挨拶

キャビネット会計 L. 佐久間 修一 (盛岡LC)

昨年7月にキャビネット会計を拝命しまして間もなく1年になろうとしています。

7月のミラノでの国際大会からスタートし、8月のガバナー公式訪問、各クラブの周年記念、キャビネット会議、その他の会議や各種フォーラムへの出席、今年の2月の第3回キャビネット会議までは順調に役目をこなしてまいりました。しかし、中国の武漢地方を発生源とする新型コロナウイルスの影響が日本でも表れ始め、その後の行事はほとんどを自粛することとなり、地区年次大会やそれに伴うエクスカッション等が中止となりました。

地区年次大会のエクスカッションは、332-B地区ガバナーL. 平野喜嗣のアクティビティスローガンである「地域と共生」— 継続は力なり — の実施を踏まえて、三陸鉄道支援事業として「三陸鉄道リアス線に乗って～日帰りの旅～」と銘打ち、東日本大震災や台風被害にあった三陸鉄道を応援する企画でした。月1回の年次大会準備の連絡会議のほか週に1～3回の打ち合わせを行い、現地調査や三陸鉄道との打ち合わせも含め準備を進めてきたので、非常に残念な結果になりました。

また、地区年次大会で地区ガバナーに最後の花道を飾ってあげられなかったことは、キャビネット会計として非常に心残りで、不完全燃焼に終わったという思いが強いです。

しかし、この後はまだ決算という大事な締めくくりの役目が残っております。最後の決算までは気を引き締めて頑張りたいと思っております。

この1年間、ガバナーをはじめキャビネット構成員の皆様や事務局の皆様、また多くの会員の皆さまに大変お世話になり感謝しております。1年間ありがとうございました。

## ゾーン・チェアパーソン退任の挨拶



1R1Z

L. 関根 信  
(盛岡LC)

1Zの各クラブにおかれましては、会長を中心として、クラブ運営、会員維持・会員拡大・支部創設などの課題はもちろん、今年のカバナー重点目標実現にも常に積極的に取り組んでいただき、なおかつ「スペシャルオリンピックス日本・岩手」を支援する合同アクティビティをも実施していただきました。各クラブの運営力、実行力の素晴らしさを学ぶことができ、とても勉強になった1年でした。

アツという間に任期の終わりを迎えることができ、正直ホッとしています。

「三陸鉄道支援の旅」や「年次大会式典」の中止は、会員の皆様にとっても大変心残りとなったと思いますが、ライオンズは1年ごとに常に新しい気持ちで未来に向かって進んでいける団体だと思います。来期に向けて、皆様がそれぞれの新しい役割を得られ、クラブを通してさらなる地域貢献をされることを楽しみに退任させていただきます。一年間お世話になりました。そしてありがとうございました。



1R2Z

L. 工藤 每代  
(西根LC)

ZCとしての任務も終盤に差し掛かろうとしていた時期、誰もが経験したことがない新型コロナウイルス感染拡大の懸念が世界中を駆け巡り、我

が日本、そして岩手にも影響が広まってきました。私の所属するクラブの50周年記念式典、また1R地区内のクラブの60周年記念式典、平野ガバナー発案の三鉄復興支援の三鉄ツアー、そして、332-B地区第66回年次大会と、ことごとく中止に追い込まれてしまいました。

そんな中でのZCとしての退任の挨拶となりましたが、正直なところ、任務の半分もこなしていない全くの消化不良の状態です。元々、ZCとして資格不十分のまま指名されて、安易に引き受けてしまった事に尽きる訳ではありますが…。後悔しても時間は止まってくれません。もう少しで任務が終了します。半端な気持ちのままに終わるわけですが、1R2Z内の4クラブの皆様方には、未熟者の私に助言をくださりながら懸命に支えて頂き、そして守り立てていただきました。本当にありがとうございました。

誌面をお借りしまして、ZC退任の挨拶とさせていただきます。



2R1Z

L. 岩館 富夫  
(石島谷LC)

「平野喜嗣ガバナーのために、この一年、精一杯の努力をしよう！」と固く決意した「あの7月」が無性に懐かしく感じられます。こんなにも感傷的な退任挨拶になろうとは、想像もしていませんでした。

コロナ禍さえ無ければ…と、悔しくて仕方ありません。私でさえ、そうなのです。平野ガバナーの悔しさ・断腸の思いは、察するに余りあるものと存じます。

ゾーン・チェアパーソン退任の挨拶

しかし、それでも一つだけ、素晴らしい思い出もございました。2R1Z合同アクティビティ「ドキュメンタリー映画『風のかたち』上映会」であります。700名を超えるお客様にご来場いただいたこと。あの感動は今も忘れられません。上映会場で集まった寄付金66,595円は、「公益財団法人そらぶちキッズキャンプ（北海道滝川市）」へ寄付させていただきました。

映画にも登場した「泣き虫先生」こと細谷亮太医師、そして何よりも小児ガンの子供たち・ご家族のためにも、この活動は今後も継続していきます。

最後に、この一年、私を支えていただいた全ての皆様に感謝申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



2R2Z

L. 高橋 義典  
(北上国見LC)

任命されて間もなく1年、平野ガバナーのもと、ガバナーテーマ『明るく、楽しく、We Serve. 行動しよう！ライオンズ!!』を掲げて、昨年7月にスタートし、今年2月以降は新型コロナウイルスの影響により予定していた行事が多々中止となり、あっという間の一年と感じております。

2R2Zの各クラブ会長はじめ、キャビネット役員・会員の皆様のご協力で何とか責務を果たせそうです。今期ゾーン内での合同アクティビティとして、清掃事業、アジサイ剪定作業、草刈り作業等の労力奉仕等にご協力いただきありがとうございました。

『ライオンズクラブを心の底から好きでやっています』と言えるクラブ運営を呼びかけて参りました。各クラブのメンバーの心が一つにならないと、如何に難しいか痛感致しましたが、理想をあきらめず、

この経験を少しでも生かし、今後も微力ながらアクティビティ等に努めたいと思います。

来期は2R2Z・北上国見ライオンズクラブより菊池徳男ガバナーが誕生致します。今期もゾーン内のクラブメンバーには大変お世話になりましたが、来期も何卒宜しくお願い致します。

1年間、誠にありがとうございました。



3R1Z

L. 高橋 良一  
(金ヶ崎LC)

今年度の平野ガバナーの重点目標は、復興支援です。私は出身クラブで、平成27年から高田松原の再生にかかわってきました。この活動を3R1Zの事業に取り入れたいと考えました。令和元年9月8日「高田松原再生事業支援活動」として、ゾーン内家族交流会を実施しました。21名が参加して、高田松原の植栽地で汗にまみれながら草取りをしました。その後、近場の温泉地で交流会を開催し、親睦をはかりました。通りすがりに買い物をし、一石二鳥の支援ができたと思っています。

諮問委員会は年4回実施することで予定しました。1回目アクティビティ、2回目会員増強、3回目人材育成、4回目1年間の反省と、話し合うテーマを予め決めて進めました。1回目、2回目は各クラブの実状と課題を提起し、話し合いを深めました。しかし、3回目、4回目は新型コロナウイルス感染拡大防止の意味から中止となり、直接話し合うこともできず、特に会員増強とLCIFの推進をお願いできませんでした。それどころか、新型コロナウイルスで、景気減速により、退会やLCIFが縮小するのではと、不安に思いながら退任します。一年間ありがとうございました。


**3R2Z**
**L. 伊藤 和江**  
 (一関巖美溪LC)

昨年7月から3R2ZのZCを引き受けまして、右も左もわからないなかでも、私なりに一生懸命頑張っておりました。

ゾーン内各クラブの会員の皆さまとは、以前から和気あいあいとしたお付き合いをさせていただいておりましたので、私が何かわからない部分があれば適切にご指導を賜り、色々と助けていただき感謝申し上げます。

至らない点多々ありましたが、8月のガバナー公式訪問からはじまり、ZC会議、キャビネット会議への参加、ゾーン内諮問委員会合同例会として各ゾーンの方々との交流など、私自身本当に勉強になりました。表に出ることでライオンズクラブの内容が身になり、ひとつになったような想いがあります。

後半は新型コロナウイルスの影響で、ほとんどの行事が中止になりました。もう少しLCの活動をし、和を深めたかったという残念な思いもあります。一日も早くこの様な状況が収束しますよう、心から願っております。

最後に、この一年間、会員の皆さまには大変お世話になり、誠にありがとうございました。

明日に向かって新たな第一歩を踏み出しましょう。


**4R1Z**
**L. 小野寺 規夫**  
 (室根LC)

昨年7月に川崎岩手LCのL. 千葉康司より引き継ぎ、早いもので1年が経過しようとしております。

残念ながら、新型コロナウイルスに振り回された印象が強く残る1年になってしまいました。楽しみにしていた三陸鉄道の旅も中止になって残念です。コロナウイルスの一日も早い収束を願います。

ゾーン内のクラブ訪問には、大変な歓迎とおもてなしをいただき、誠にありがとうございました。それぞれクラブ運営に対して特色のある工夫をされており、指導助言どころか私自身、大変勉強させられました。

また、11月に広島で開催された東洋東南アジアフォーラムは、大変良い天候に恵まれたこともあり、素晴らしい体験と思い出を作ることができました。

昨年に引き続き開催した3R2Zとの一関合同交流会は、講演会の講師がなかなか見つからず、私の「自分の身体は自分で守る！」という拙い講演でしたが、伊藤和江ZCには場を盛り上げていただき、大いに交流を深めることができました。

新型コロナウイルスの影響で、終盤は何か尻すぼみになってしまった感がありますが、この一年、任期中にお世話になった皆様に感謝申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。


**4R2Z**
**L. 伊藤 壽太郎**  
 (大船渡五葉LC)

昨年7月に就任以来、ガバナー公式訪問、各クラブ訪問、そして第1回～第3回までの各諮問委員会と順調に推移してきましたが、以後、新型コロナウイルスの猛威で全てが中止になりました。

ガバナー公式訪問では、6か所目の開催と言う事もあり活発な意見交換がなされ、ガバナーテーマとアクティビティスローガンを目標に1年間の指針が見えてきました。

クラブ訪問では、4クラブそれぞれに例会の進

ゾーン・チェアパーソン退任の挨拶

め方に特徴があり、皆さんの情熱と工夫が感じられて、前向きに活動をしていると感じました。

2月28日の第3回諮問委員会を最後に、全ての活動が中止・休止になりました。各クラブの例会も4月からは全て中止。ライオンズクラブ自体が休眠状態となり、次年度に向けての会員の勧誘もはばかれる状態です。

5月になり、例会の開催もちらほら聞こえはじめ、新年度とともにエネルギーの爆発を期待します。

1年間、平野ガバナーをはじめキャビネットの皆様、ゾーン内の皆様にはお世話になりました。ライオンズが一番の佳境の時期に、新型コロナウイルスによってこのような状態になったのは非常に残念です。1日も早い普通の生活がくることを願い、退任の挨拶といたします。



5R1Z

L. 須賀原 チェ子  
(陸中宮古LC)

思い起こせば、宮古岩手LC解散の危機から始まった私のZCの1年は、コロナウイルスの為に活動を封じられて終わろうとしています。

担当クラブの解散に翻弄されましたが、宮古岩手LCの大森桂子会長のクラブへの熱意に応えたいと移籍し、存続できました。一方では、この騒動のなか、退会された方もあり、心穏やかではありませんでした。親クラブと子クラブとの関係や、日本各地でクラブ解散の危機があるなど、その事を真摯に捉え、その理由や対策を考えないとLCそのものの存続すら危ぶまれるのではと、考える良い機会となりました。

ガバナー訪問・諮問委員会・各クラブ訪問などの事業をこなし、田野畑LCのマレットゴルフ大会の開催に向けて、まさに動き出そうとする中でのコロナウイルスで、すべての活動がストップしま

した。特に私は保育を仕事にしているので、引きこもり状態になりました。LCの各事業も中止を余儀なくされ、キャビネットの皆様も心残りの事とお察しいたします。次のZC、L. 對馬博貴には、やり残した懸案や事業を宜しくお願い致します。ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。



5R2Z

L. 細田 勝夫  
(釜石LC)

平野ガバナーをはじめキャビネット役員・事務局の皆様のご指導の下、無事に一年間の役職を務めることができました。

この一年間を振り返ってみますと、5R2Zは東日本大震災の被災クラブが多く、未だ復興途上にあるため新規会員獲得は厳しい現状でありました。

また、被災地を応援する県内外のクラブも多く、支援の受け入れ態勢を整えるべく様々な観点から模索・調整することができました。

さらに、任期中に発生したコロナウイルスの脅威により、アクティビティの縮小開催や延期・中止など、これまで経験した事のない選択を迫られ、勇気ある決断が試されました。

しかし、ゾーン内クラブの迅速な行動力や友愛の高さによる一致団結力など、ZCだからこそ見ることができた産物が多く、ZCの賜物として嬉しく思います。

最後に、ゾーン内の各クラブ四役と全ての会員・事務局の皆様には多大なるご協力をして頂き、心より深く感謝を申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。



# ゾーン・チェアパーソン会議を終えて

キャビネット事務局長 L. 樋下 光 (盛岡LC)

6月16日(火) 10時20分より、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングにて、第4回ゾーン・チェアパーソン会議が開催されました。

司会の伊藤キャビネット幹事の開会宣言で会議が始まり、佐久間キャビネット会計による出席者の紹介に続いて、平野ガバナーより挨拶がありました。

平野ガバナーは挨拶の中で、この一年間の活動を振り返られ、8月の公式訪問・各種セミナー・クラブ周年記念式典等、精力的に活動してきましたが、総仕上げの時期にコロナウイルスという問題が発生し、三陸鉄道の旅エクスカッションや年次大会等全てを中止せざるを得ない状況となり、非常に悔しい思いだったと話されました。

ただ、エクスカッションについては、次期の菊池ガバナーエレクトに託したいとのことでしたので、来期は盛大にエクスカッションが開催されることを期待しております。

その後議題に入り、第4回キャビネット会議の確認、キャビネットローテーションの確認、クラブ優秀賞申請のとりまとめについて協議されました。

最後に菊池地区ガバナーエレクト、村上第一副地区ガバナーエレクト、そして各ゾーン・チェアパーソンより一年間を総括してのお話をいただきました。皆さん共通してコロナに振り回された話が多数でした。

次期の北上国見キャビネットの時にはコロナも収束し、奉仕活動が自由にできるようになっていることを願います。



平野ガバナーの意思を引き継ぎ、来期の抱負を述べる菊池ガバナーエレクト



一年の活動を振り返り、今の気持ちを語る平野地区ガバナー



各ZCからも一年を総括する報告がなされた  
(写真は伊藤和江ZCからの報告)

## キャビネット会議を終えて

キャビネット事務局長 L. 樋下 光 (盛岡LC)

6月16日(火) 11時よりホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングにて、第4回キャビネット会議が開催されました。今回のキャビネット会議は、コロナウイルス感染予防の観点から縮小開催となり、総勢32名の出席で執り行われました。

赤坂キャビネット副幹事の司会により会議は進行し、平野ガバナーの挨拶では、この一年間の感謝と労いの言葉があり、中でも今年度は、大きな自然災害が発生したりコロナ問題がある中でも、332-B地区が第3四半期会員維持全国第一位という快挙がなされたこと、また和賀フロンティア支部、盛岡<sup>あすなろ</sup>翠松支部が結成されたことにも触れられました。

次にアワード贈呈、前キャビネット三役へ記念品贈呈、年次大会報告と進み、地区運営報告では10項目の報告事項がありました。

その後、議案審議に入り、次期キャビネットへの申し送りの件、ライオンズクエスト事業の確認を求める件、各役職員の任期と引き継ぎの件の3議案とも、原案とおりの可決されました。

続いて、本来であれば年次大会で行われる、ガバナーキーの引き継ぎが行われました。平野ガバ

ナー、菊池ガバナーエレクトとも白のタキシード姿で、多少緊張された面持ちでしたが無事に引継ぎが行われ、菊池ガバナーエレクトより挨拶がありました。菊池ガバナーエレクトは、今期実行出来なかったエクスカッションを来期に盛大に開催したい旨と、今期と変わらぬ次期キャビネットへのご協力を賜りたいとの、来期への強い気持ちの挨拶を述べられました。村上第一副地区ガバナーエレクトからも、今期一年間の感謝の挨拶があり、第4回キャビネット会議は終了しました。

懇親会はなく、昼食会で終了となりましたが、今期は終盤にコロナウイルス問題に振り回され、集大成である年次大会やエクスカッション、国際大会等各行事が中止となり、このキャビネット会議が最後の行事となりました。次期北上国見キャビネットの時には、ガバナーテーマでもあった『明るく、楽しく、We Serve 行動しよう！ライオンズ!!』のとおり、行動制限されることなく奉仕活動ができる事を祈念し、またこの一年間、キャビネット運営にご尽力とご協力をいただいた皆様に感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。



ソーシャルディスタンスを保持した会議場



1年間の協力に謝意を述べる平野ガバナー



国際会長賞を受賞した菊池ガバナーエレクト (左)



リーダーシップ・アワード・メダル受賞者伊藤キャビネット幹事 (左) と佐久間キャビネット会計 (右)



国際会長感謝状の表彰者15名を代表して村上第一副地区ガバナーエレクトが受け取る (左)



LCIF理事長メダル受賞者吉田ひさ子前地区LCIFコーディネーター



332複合地区ガバナー協議会議長賞受賞者伊藤キャビネット幹事と佐久間キャビネット会計



前キャビネット三役への記念品目録を受領した館澤繁信前キャビネット幹事 (左)



伊藤英明地区年次大会委員長からの報告



議案審議で議案説明をする伊藤キャビネット幹事



平野ガバナーから引継ぎされたガバナーキーを携える菊池ガバナーエレクト (左)



来期の決意を語る菊池ガバナーエレクト



村上第一副地区ガバナーエレクトからも来期の想いが伝えられた

## TOPICS

### 岩手医大アイバンクへ ひかりの箱募金贈呈

2020年6月4日(木)、平野喜嗣ガバナー、伊藤完治キャビネット幹事、佐久間修一キャビネット会計が岩手医科大学を訪問。各クラブからの今年度ひかりの箱募金1,267,103円を岩手医大眼球銀行（アイバンク）祖父江憲治総裁に手渡した。アイバンクからは感謝状をいただいた。



### 年次大会記念事業「三陸鉄道支援」支援金贈呈式

今期のガバナー重点目標の第一に掲げた「東日本大震災復興支援」を強力に推し進めるため、4月25日に東日本大震災復興支援・令和元年台風19号支援エクスカージョンとして、332-B地区会員参加の「三陸鉄道リアス線に乗って～日帰りの旅～」を企画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応から止むを得ず中止となりました。本来であれば、三陸鉄道の南北の駅からそれぞれ100人の会員が貸し切り列車に乗り、宮古駅で合流。そして参加者全員が見守る中で支援金の贈呈式が行われる予定でした。



感謝状をいただき、全員で記念撮影（右からL. 伊藤英明、L. 佐久間修一、L. 伊藤完治、L. 平野喜嗣）と中村一郎社長、山本正徳宮古市長



平野ガバナーから目録を受け取った三陸鉄道(株)中村社長（左）

それからちょうど1ヵ月。5月25日に行われたイーストピアみやこでの贈呈式において、平野喜嗣ガバナー、伊藤完治キャビネット幹事、佐久間修一キャビネット会計、伊藤英明年次大会委員長が出席し、三陸鉄道(株)中村一郎社長に復興支援金250万円の目録をお渡しすることができました。式には宮古市の山本正徳市長も同席され、中村社長からは、鉄道事業に対する温かいご理解と多額のご寄付を賜り、今後の事業運営に活用させていただきたいと感謝状が贈られました。

キャビネットは来期も引き続き、東日本大震災復興支援並びに令和元年東日本台風（19号）支援として、被災地に寄り添っていきます。

クラブ  
紹介

## 田野畑ライオンズクラブ20年の歩み



田野畑ライオンズクラブ会長 L. 佐藤 辰男

当クラブは2000年6月、陸中宮古ライオンズクラブのスポンサーによって、332-B地区57番目のクラブとして結成。ライオンズ精神の奉仕の心、地域に根差し村の発展を願い、認められるクラブを目指すとし、陸中宮古LCの熱心なご指導を受けながら、27名のチャーターメンバーによる活動が始まりました。しかし、時間が経つにつれ例会の参加者不足や、退会者の多発で活動が不振になり、クラブの存続を考えなければならない時期に、当時の種市・米谷両名誉顧問から、「自分たちの出来る範囲の活動で宜しい」とのアドバイスをいただき、思いを新たに活動を復活させました。

2011年3月、東日本大震災が発生。キャビネットからの支援のお話があり、332-B地区に対する当クラブの貢献度を考え、遠慮がちに要請しましたが、想像だにしていなかった支援が届き、ライオンズクラブはこんな事が出来る組織なのだ改めて思い知らされました。

数々の支援は有難く、地域に役立てたことと感謝で、田野畑村にライオンズクラブがあって本当に良かったとつくづく思いました。幸い、クラブ員に直接の被害はありませんでしたが、住居を失った避難生活中の被災者が入会。勇気のあるライオンズが誕生し、ライオンズクラブの偉大な力

に感動いたしました。

現在正会員・賛助会員・家族会員合わせて22名のクラブ員で活動しています。例会は事前に役員会で打ち合わせをし、後日月1回の定例会となりますが、協議時間は短めに、飲食を含む和気あいの楽しい例会になるよう努めています。

青少年の健全育成をテーマに、様々な事業に取り組むほか、献血推進、歳末助け合い、地域の美化環境整備等、労力奉仕の活動が中心です。今般、20周年記念式典はコロナウイルス禍により中止になりましたが、記念事業のアクティビティは実施の予定です。

クラブはまだまだ発展途上の最中です。今後は若返りを図りながら、地域に認められる活動を心掛けたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。



大震災被災者へみかんプレゼントを準備中



早大生と一緒に献血活動を行う



県道のカーブミラーの清掃活動

# 5月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡LC	—	
盛岡不來方LC	28日	「緑の募金」
盛岡中津川LC	25日	LCIF\$1000献金
盛岡観武LC	28日	LCIF\$1000献金、 LCIF\$20献金
	14日、28日	ヘッドネーション
盛岡南LC	—	
滝沢LC	—	
玉山姫神LC	25日	国際地球デー ライオンズ公園の整備事業
1R2Z		
二戸LC	19日	使用済み切手 2156枚送付
西根LC	8日	ライオンの森清掃。水路清掃
	12日、20日	献血推進活動
安代LC	—	
2R1Z		
花巻LC	25日	ひかりの箱募金
紫波LC	26日	使用済み切手4283枚、ハガキ2枚送付
石鳥谷LC	—	
花巻東LC	—	
矢巾LC	6日	矢巾駅に雨傘提供
2R2Z		
北上LC	4月	資源回収リサイクル
	15日	献血推進活動 2か所
和賀LC	4月16日、28日	資源回収
	1日	資源回収
	25日	福祉施設にマスク寄贈
	28日	献血推進活動
北上国見LC	8日、22日	献血推進活動
江釣子LC	10日	献血推進活動
	26日	カーブミラー清掃
3R1Z		
水沢LC	14日	後藤新平顕彰会
	18日	水沢三中野球部にボール寄贈
江刺岩手LC	19日	岩手県青少年育成県民会議
前沢LC	17日	献血推進活動
水沢中央LC	—	
金ヶ崎LC	6日	献血推進活動
	29日	使用済み切手 530枚送付
胆沢岩手LC	—	
3R2Z		
一関LC	29日	使用済み切手 1500枚送付
平泉LC	—	
花泉LC	12日	献血推進活動
一関中央LC	20日	LCIF\$100献金 キャンペーン100
一関厳美深LC	20日	青少年育成 児童・生徒にアニマルグッズ寄贈
	24日	献血推進活動、厳美深案内看板の周辺草刈り、記念碑清掃

4R1Z		
千厩LC	—	
大東岩手LC	18日	国際地球デー 蟻塚公園に桜の植樹
東山LC	—	
藤沢岩手LC	11日	町内小学校と中学校にマスク購入助成金
川崎岩手LC	—	
室根LC	11日	献血推進活動
	24日	プラントナー配布事業
	28日	ヘッドネーション
4R2Z		
大船渡LC	3日	ライオンズ農園田植え
陸前高田LC	20日	LCIF\$100献金 キャンペーン100
	21日	ひかりの箱募金
住田LC	—	
大船渡五葉LC	—	
5R1Z		
宮古岩手LC	24日	ライフジャケット贈呈、認定こども園 樹木の手入れ
久慈LC	—	
陸中宮古LC	—	
田野畑LC	—	
岩泉龍泉洞LC	—	
5R2Z		
釜石LC	—	
遠野LC	7日	リサイクル品の回収
	18日	LCIF\$100献金 キャンペーン100
釜石リアスLC	—	
大槌LC	—	
陸中山田LC	19日	ライフジャケット贈呈
ライオネスクラブ		
西根LS	26日	むらさき苑へタオル寄贈
レオクラブ		
盛岡LEO	—	
石鳥谷LEO	—	
北上LEO	—	
一関二高LEO	—	
釜石LEO	—	

## 会員動向

### ●5月 新入会員一覧

クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
久慈LC	L. 谷地 京子
胆沢岩手LC	L. 鈴木 重徳

### ●2020年5月 LCIF\$1000献金

クラブ名	会員氏名	MJF回数
盛岡中津川LC	L. 橋本 宏悟	1
盛岡観武LC	L. 齊藤 良教	1

### 訃報



田野畑LC  
故 L. 中山 城明

享年72歳  
2011年1月転入  
5月18日ご逝去



5月25日、宮古市のイーストピアみやこにおいて復興支援金目録贈呈式を行う。(P12に詳細記事)



# アクティビティ フォトグラフ



## 江釣子ライオンズクラブ



カーブミラーの清掃

## 盛岡観武ライオンズクラブ



ヘッドネーション表彰式

## 玉山姫神ライオンズクラブ



ライオンズ公園整備作業

## 水沢ライオンズクラブ



水沢三中野球部にボールを寄贈

## 室根ライオンズクラブ



プランターに花植え

## 大船渡五葉ライオンズクラブ



みどり町公園草刈り作業

### 編集者プロフィール

疫病退散に効くと妖怪「アマビエ」がブームとなっている。アマビエは九州に伝わる妖怪で、疫病が流行したら自分の姿を描き写した絵を人々に見せよと予言したとされ、江戸時代後期の瓦版にはそれを見た人の話として記載がある。私の知っているデザイナーが、さっそくアマビエを描いてメールに添付し拡散している。それを掲載するので、ご覧になった皆さんにとって疫病退散となることを願っている。



©遊墨民

ライオンいわて編集長 L. 晴山博邦 (川口印刷工業 執行役員営業本部長)

#### 【表紙の写真】 葛根田川と岩手山

上流部では型の良いイワナが、下流部ではヤマメが釣れる葛根田川。豊かな溪流を守るため、矢筈橋から西根砂防ダムまでの約12kmは、キャッチ&リリース区間となっています。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

### ライオンいわて編集委員会

発行 2020年6月25日

発行人：L. 平野 喜嗣 (盛岡 LC)  
編集長：L. 晴山 博邦 (盛岡 LC)  
副編集長：L. 高橋 英雄 (玉山姫神 LC)  
編集委員：L. 黒澤 秀之 (盛岡不來方 LC)、L. 鈴木 史章 (盛岡中割川 LC)、  
L. 根澤 将藏 (盛岡観武 LC)、L. 小野寺 平信 (盛岡南 LC)、  
L. 真田 早子 (滝沢 LC)

印刷 川口印刷工業株式会社  
〒020-0841 岩手県盛岡市羽場10-1-2  
TEL：019-632-2211 FAX：019-632-2217  
E-mail：lion332b@kpj.co.jp  
キャビネット事務局 〒020-0022 盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号  
TEL：019-621-1415 FAX：019-621-1420  
E-mail：office-332bmorioka@almond.ocn.ne.jp